


退職者 NO.130

こだま会報



発行日：2020年11月15日／季刊第130号
 編集・発行：神奈川県職労連退職者こだま会
 〒231-8588 横浜市中区日本大通1 県庁本庁舎地下1階
 発行人：加瀬文隆
 ☎045 (212) 3179 (代) Fax 045 (212) 3178 (代)
 Eメール kodama@kodamakai.sakura.ne.jp
 URL http://tekuteku.jeez.jp

第73回歴史教室 (散策)



傘をさして天守台跡を散策

中秋の石垣山一夜城へ



「山上宗二の小田原での死については、利休は自ら他に語ったことはない。(中略)それほどあの無残な死は利休にこたえた。石垣山のお城の既曲輪の片隅に横たわった宗二

は、胴と首をべつべつにしたのみでなく、両方の耳と鼻をそぎ落されていた」(野上弥生子著『秀吉と利休』)と記され、山上宗二の追善碑は湯本の早雲寺(臨濟宗大徳寺派)境内にある。

霧立ち込める石垣山一夜城

こだま会の歴史教室(散策)で、



「秀吉の一夜城と小田原城を歩く」という企画を楽しみにしていたが、10月17日の当日は、「雨天中止」とな

り残念だった。しかし、コロナ禍での外出不足からか、どうしても歩きたい人が小田原駅に6人集まり、霧立ちこめる中秋の石垣山一夜城へ傘をさして散策することにした。

小田原宿観光回遊バス(土・日運行)は「貸切バス」状態となり、ガイド嬢もお客があつてうれしそうだった。

(2面に続く)

散道

私の投稿「物理学者ニールス・ボーアに魅せられる」を前号に掲載して頂き有難う▼物理学者としてのボーアの業績は知っていましたが、積極

的平和主義者であったことは最近になってからです。岩波文庫のニールス・ボーア論文集1「因果性と相補性」のなかで、「国際連合への公開書簡」を見つけたことがきっかけです▼ボーアの原爆に対する考えを私流に言うと、「人類が不幸にして原爆製造技術を発見した以上、この事実を覆い隠すことはできない。したがってこの技術を国家体制の異なる国を含めて全て公開すべきである。その上でこの技術がいかに危険なものであり、製造、使用を禁止する国際管理におくべき、そのために国家間の信頼が必要」ということだと思えます▼ボーアの信条は公開・協力・連帯と言われています。そのため広島・長崎原爆投下前に多くの協力者を得て米英首脳と会見することができ、彼は自分の考えを訴えたが、残念ながら受け入れられなかった。一個人から出発した核禁止の運動は全世界に広まり、10月24日、核兵器禁止条約の発効に必要な50カ国に到達。まさに核禁止運動のパイオニアではなないかと思えます。(佐藤 榮一)

「戦争法」から5年



今年の19日国会行動 (9月19日)

集団的自衛権を認めた安保関連法(戦争法)の強行から今年の9月19日で5年、「19日国会行動」も60回目を迎えました。

◇ ◆ ◇

毎月19日に国会前で行われる集会に参加して、反対の意思表示を続けています。「こだま会」のみならずとご一緒です。憲法を守り平和を守ることへのそれぞれの思いを持って集まり、みんな若々しく声を上げています(現在はコロナ感染予防のため

「19日国会行動」に参加して

惣田 智子

コールは自粛中ですが)。5年前、戦争法を巡って「立憲主義」という言葉がかつてなく注目されました。日本国憲法は前文で、「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起こることのないやうに」「われらは、これに反する一切の憲法、法令及び詔勅を排除する」とあります。もともと憲法は政府の行為を縛るものであり、憲法違反の法律は無効と定めています。

(3面に続く)



「戦争法案ノー」12万人の怒りの国会包囲行動 (2015年8月30日)

(1面より続く)

関東で最初の総石垣の城

石垣山一夜城は、戦国時代の「陣城」であるが本格的な城郭であり、関東における最初の総石垣の城である。さらに、石積の工法は、滋賀県穴太の石職人による穴太積みであり、当時の石垣がそのまま(関東大震災で一部崩壊)保存されていることは貴重である。

「鎧塚ファーム」で小休憩

一夜城は朝からの雨にもかかわらず足場はよく歩きやすく、井戸曲輪、



物見台から相模湾をのぞむ

厩曲輪から天守台をめぐり、本丸の物見台に上がると霧も上がり、相模湾と小田原市内、小田原城を眺めることができた。

この日の雨は、山上宗二の涙雨であったのか? いつの世の戦争も、かなしいものである。帰りのバスまで20分ほどあり「鎧塚ファーム」で小休憩した。

小田原城の天守閣から石垣山を望む

小田原駅に戻り駅前で昼食をとり、午後は小田原城の天守閣に登り、先ほどの石垣山を望んだ。箱根山は霧がかかっていたが相模湾や小田原市内の展望は良好だった。小田原駅解散時の私の万歩計は、1万余歩を示していた。

(小川 晃司・箱根町在住)

太閤一夜城とは

天正18(1590)年、豊臣秀吉が小田原北条氏を水陸15万の大群を率いて包囲し、その本陣として総石垣の城を築いたことから「石垣山」と呼ばれるようになった。この城が「太閤一夜城」と呼ばれるのは、秀吉が築城にあたり、山頂の林のなかに塀や櫓の骨組みを造り、白紙を貼って白壁のように見せかけ、一夜のうちに周囲の樹木を伐採し、それを見た小田原城中の将兵が驚き、士気を失ったためといわれる。しかし、実際にはのべ4万人が動員され、天正18年4月から6月まで約80日間が費やされた。(小田原市HPより)

こだま俳壇(7月)

曼珠沙華砂丘の先の海と空

友井 眞言

繋がりや絶やさず鷹の山別れ

高橋 和江

手に馴染む母の播粉木とろろ汁

田中 一男

一人座すずむしまつむしスマホ鳴る

木村 武子

掃く人の無く禅寺のこぼれ萩

松尾佐知子

独り居のコンサートなる虫の闇

三井 光子

淋しさのまつただなかや曼珠沙華

中野みどり

脱衣場の足元跳ねるちちる虫

島田多嘉子

松虫や流るる雲はアンダンテ

角田 英昭

いわし雲山への想いつのる日々

小室 豊子

鈴虫の声を潜めて鳴く夜半

白石保次郎

長姉を亡くし深まる秋模様

後藤 貞夫

せせらぎの狭き川辺に曼珠沙華

並木まり子

耳をつく青松虫や庭木立

本山 文子

散歩する犬の首輪に曼珠沙華

中村 桂子

曼珠沙華七人の名の黒マスク

瀧澤 正行

村里は木屋の香に包まるる

常世田芳子

鎌倉の古道に白き曼珠沙華

鳥海 敏雄

同窓会話題が尽きぬ夜長かな

柳瀬 節子

虫時雨牛舎泊まりとなりにつけり

講師・太田 士男

(2面より続く)

政府の「集団的自衛権を認める」という勝手な解釈の変更、「海外で戦争できる国になる」ことに危機感を強めた多くの人々が、SEALDsをはじめとする若者も、子ども連れのママ・パパたちも、学者・文化人も、弁護士会も、そして様々な地域・職域の「9条の会」も声を上げ、その声は連日国会を取り巻きました。国会では参考人として出席した3人の憲法学者が、自民党推薦の学者も含めて「違憲」と判断したにもかかわらず、まともな説明もなしに、怒号と混乱のなか、強行採決(採決は確認?)されました。こんな理不尽なことは許されてよ



JR新橋駅前広場に集合 (2019年9月19日)

いはずはありません。

「戦争法は憲法違反」です。1年経っても、5年経っても、違憲は違憲です。「立憲主義を回復」することがはじめです。

1945年生まれの私たちの世代は「終

「終戦っ子」は、平和と自由・民主主義を手にし、守られてきた

戦っ子」と呼ばれ、戦争や平和憲法を意識して育ってききました。戦後75年、

憲法が公布されて73年。いろいろあったけれど、「国民主権」「戦争放棄」「基本的人権」を掲げた憲法のもと、私たちは平和と自由と民主主義とを手にし、守られて来たのです。忘れてはいけないことは、国が外に向けて戦争に向かう時、国民に向けてはその自由や権利を奪おうとすることです。そのため「日本国憲法」は思想信条の自由をはじめ、信教の



2019年9月19日の行動。日比谷野外音楽堂

自由、言論・出版その他一切の表現の自由、学問の自由などをこと細かに定め、様々な権利を明記し、権力の暴走に歯止めをかけているのです。つまり戦争に向かう時、私達の平穏な生活が壊されていくのです。その意味で、今回の日本学術会議への政府の乱暴な介入は、戦前の歴史に学べば見過ごすわけには行きません。広島生まれの私は、原爆慰霊碑に刻まれた「安らかに眠って下さい 過ちは繰返しませぬから」という言葉に恥ずかしくない行動は何かを考え続けて行きたいと考えています。(そっだ・ともこ)



-55-

スポーツは平和な時代であつてこそ

農政部畜産課の
出先機関に獣医師

として勤め、1999年に定年退職。

畜産関係の団体に2007年まで勤め、2008年から2015年まで農業大学校畜産コースの非常勤講師として家畜生理学等の講義を担当しました。

「鉄人レース」の 記事を読んで鳥肌が…

学生時代は土方仕事で授業料等を稼いだ健康な身体でしたが、神奈川県に勤める前の不規則な働き方で体調を崩してしまい、20代、30代は極めて不健康でした。子どもたちが通



2019佐渡国際トライアスロン大会RUN (21.1kmで完走)



BIKE (108km) を完走

う水泳教室を見て、夢よもう1度と病弱な身体をプールの水に沈めたのが40歳の秋でした。

日曜日毎の

プール通いを続けていた42歳の
ある日、新聞で見たのがハワイの第3回トライアスロン大会・鉄人レースの記事でした。水泳3・8歳、自転車180歳、最後にフルマラソン42・195歳を1人で続けてやってみようなんて、新聞を握る腕に鳥肌が立ちました。「時間さえかければ自分にも

トライアスロン大会

「鉄人レース」で完走

戸塚 忠さん (82)

出来るかもしれない」と家内の前で言ってしまったのが運の尽き。

バス通勤区間はマラソンと
自転車でトレーニング

さあそうになると、日曜日の水泳の他に自転車とマラソンのトレーニングをしなければ。それには通勤を利用するしか時間がありません。バス通勤の区間をマラソンと自転車に変えました。背広やネクタイは職場のロッカーに入れて、着替え類を背中のザックに、ジョギングシューズが通勤姿です。

初完走は51歳のとき

身体を鍛えて、初めて鉄人レースを完走したのが51歳。以後、10年連続60歳まで鉄人でしたが、定年後の仕事では通勤トレーニングが思うように出来ず、鉄人レースの15時間の制限時間内に完走出来なくなり、鉄人の半分強の水泳2・0歳、自転車108歳、130歳、マラソン21・1歳の競技に出場して今日に至りました。

80歳・81歳、2年連続で
年代別優勝と最高齢完走者賞



五島長崎国際トライアスロン大会 (2014) のSWIM

トライアスロンは5歳刻みの年代別表彰規定があり、20歳、24歳の部門から始まり、75歳、79歳、80歳以上と、年代毎の能力、その努力を認めてくれます。過酷なロングディスタンス競技ならではの表彰形式でしょう。

75歳を過ぎると出場者は数名になり、制限時間内に完走出来れば入賞です。80歳、81歳の2年連続年代別優勝を、最高齢完走者賞を、さらに日本トライアスロン連合のロングディスタンス・エイジグループ・ポイントランキング部門でも1位の表彰状を2年連続して戴きました。

* * *

この4月から家畜保健衛生所の家畜防疫業務の手伝いの依頼があり、喜んでお受けしました。頭はボケでも首からは丈夫なもの！

平和な時代だからこそ出来るのがスポーツ。平和に感謝！

(とつか・ちゆう)

神奈川県自治労連退職者会 第29回定期総会

「コロナ禍」での運動を交流

年金・医療・福祉・平和などの 要求前進へ

県下3つの自治体の退職者会員、総勢22人参加のもと、神奈川県自治労連退職者会第29回定期総会が10月14日、横浜市従会館で開かれました。

まず、加瀬文隆会長が開会挨拶。貧困と格差がコロナ禍でクローズアップされ、新自由主義的経済政策の問題点が浮上してきたなか、日本学術会議の任命拒否など危険な菅義偉政権が発足したが、少しでも良い世の中を作っていきたいと強調しました。

来賓の神奈川県自治労連の水野書記長からは、コロナ禍での自治体の混乱した現状と横浜市のカジノ住民投票署名の状況報告、来年の横浜市長選挙ではカジノNOの市長誕生が大

事との挨拶がありました。



開会挨拶する加瀬文隆会長

駅とJR藤沢駅の間に設置予定)と湘南深沢地区の大型開発計画の税金無駄使いについての発言、そして当会の植木眞理子さんからは、全国自治体退職者会連絡会の会議に出席し、女性役員が少ない実感や厚生労働省交渉の経過報告がありました。

運動方針では、年金引き下げを許さない運動を始め、厚生労働省交渉への参加、各地の「九条の会」活動の応援、毎月19日の「戦争法」廃止をめざす国会行動への参加などを決めました。

一杉雄二議長(当会副代表幹事)の手際よい議事進行ですべての各議案が可決され元氣よくスタート。新役員も選出されました。なお、全国自治体退職者会連絡会の総会は、コロナ禍のためオンラインで行われました。(中嶋ひとみ)

2020年度神奈川県自治労連 退職者会役員の紹介

- 会長…加瀬文隆(県)
- 副会長…内田次敏(鎌倉)
- 副会長…眞次英一(横浜)
- 事務局次長…今井 信(横浜)
- 事務局次長…友井眞言(県)
- 幹事…青沼慶祐(県)
- 幹事…安部直幸(横浜)
- 幹事…植木眞理子(県)
- 幹事…小島八重子(県)
- 幹事…坂本あや子(鎌倉)
- 幹事…金子隆一(横浜)
- 会計監査…金子 豊(横浜)
- 会計監査…酒井道生(県)

(敬称略)

おすすめの1冊

『名画の言い分』

木村 泰司著

私たちを含め多くの人々は、美術館に行き海外の作品を鑑賞してきました。

しかし本著に書かれた「美術は見るものではなく、読むものです」とは、驚きの発想です。

絵画などの制作された、その時代の歴史、政治、宗教観、思想、社会



背景「その時代の美術品のメッセージ、エッセンスを

つかむ」ことで西洋美術鑑賞の楽しさ、面白さを感じさせる内容が山盛りです。

古代ギリシャ彫刻から、宗教画、肖像画、静物画、風俗画、印象派まで西洋美術2400年の美術史を一冊に収めています。

欧米では子どもの頃から美術館に連れて行く美術教育が盛んにされていると。

文庫サイズにカラー絵画あり、コロナで在宅中のいま、本著で西洋美術の素晴らしさを愉しんでみてはいかがでしょうか。(岩柳 良雄)

鎌倉“花の寺”を散策

久々に秋晴れとなった9月28日、こだま句会の有志で、花の寺として知られる鎌倉の海蔵寺と英勝寺を訪ねた。

白と紫の萩が見事な海蔵寺

海蔵寺は扇ヶ谷の奥、自然豊かな溪間にある静かな禅寺である。山門の石段に枝垂れる白と紫の萩が見事



海蔵寺の萩に囲まれて

である。庭には萩の他、芙蓉や曼殊沙華、野紺菊なども咲いており、陽ざしに誘われ小さな蝶が花を巡り、時折、鎌倉蝶とも言われる黒揚羽も飛んできた。

白い曼殊沙華が彩りを添える英勝寺

英勝寺は鎌倉唯一の尼寺で、徳川家康の妻である「お勝」が開基した寺である。ここは禅寺とは異なり雅な空気が流れている。



英勝寺の曼殊沙華を観る

お目当ての曼殊沙華は、3〜4分咲きであったが、早咲きの白は満開で彩りを添えていた。庭には花も多く、裏手には美しい竹林があり、萩も咲いていた。

寿福寺の木陰で一息、そして1句

帰路、隣の寿福寺の前の木陰で、お茶をしながら俳句を作り、門前にある俳句ポストに投句もした。寿福寺には北条政子、実朝、そして高浜虚子等の墓もある。コロナが収まればみんなで吟行もしたいと思った。

(角田英昭)

満開の萩の枝間に黒揚羽

島田多嘉子
角田 英昭
禅寺の白萩揺れてなお静か

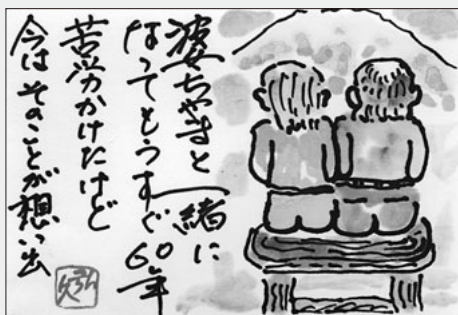
絵手紙



宮澤恭子さんの作品



高橋和江さんの作品



奥津弘久さんの作品

お悔み申し上げます

8月15日以降に事務局に連絡のあった亡くなられた会員です。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。()内は享年。

- 飯田 武雄 様 (83)
- 倉科 隆充 様 (81)
- 矢部市太郎 様 (93)
- 七宮 清 様 (85)
- 松本 吉弘 様 (79)
- 小野 弘子 様 (83)
- 日原 輝 様 (82)

萩揺らす風に鎌倉蝶も揺れ

松尾佐知子

静かなる山門の影にこぼれ萩

瀧澤 正行

彼岸花お地蔵さんに寄り添ひて

鳥海 敏雄

こだま会の人間ドックのお勧め

●人間ドックは隠れた病気を見つけます。手遅れだったということのないように、自治体の定期健康診断をはじめ、精密な人間ドックを定期的に受診されることをお勧めします。●健診内容等は同封のチラシを参照してください。●健診期間等により、料金の違いがあります。ご注意を。

会員の広場



◆「戦争を知らない子供たち」
沖村朋彦
(開成町)

私の高校生時代に、「戦争を知らない子供たち」が流行り、

今年で終戦から75年が過ぎました。映画監督や作家のベースには、平和な世界実現が確かに在ると感じ、戦争が多くの人々の人生に、大きな禍根を遺したことを改めて胸に刻みました。

◆『会報』で元気をもらい
山本秀実(長野県飯山市)
コロナ禍で外出・旅の制限が続ぎ、

親族をはじめ仲間や人との交流が制限され、ストレスが溜まっています。そんななか、『会報』の8月15日号を送ってもらいました。「せいかわ短信」には知っている人、知らない人のいろいろな意見や現況が掲載されていて、懐かしさとともに自分も頑張りたいと思う気持ちになりました。編集部の皆さんありがとうございます。

◆コロナ禍の早い終息を
小林平治(藤沢市)
コロナウイルスの関係で、

こだま会のいろいろな行事が中止・延期になり、残念です。早くコロナ禍が終息し、行事に参加したいです。
◆どっちもどっち
藤原慎一(相模原市)

どっちもどっち! 「コロナ菌熱中症を物ともせず 悪事ばらまく政界人」
◆楽しい思い出箱を一杯に
加藤和子(相模原市)

長かった梅雨。短かった夏。憂鬱な長雨。野菜や魚類が高いですね。特売品が並ぶ頃に買い物をするこの頃です。コロナは怖いけど、節約して安価なGOTOキャンペーンの旅に行こうか悩み中です。楽しい思い出箱を一杯にするために。

原稿募集中! パート2 テーマは「コロナ」または自由

◎5月に「コロナ」または自由のテーマで原稿を募集したところ、10人の会員から応募がありました。ありがとうございます。◎引き続き同じテーマで募集します。600字程度。写真があれば尚可。掲載分にはクオカードを進呈。
◎締切:12月末日。送付先:231-8588 横浜市中区日本大通1 県庁本庁舎地下1階 退職者こだま会報編集部宛。メールの場合は kodama@kodamakai.sakura.ne.jp

クロスワードパズルで頭の体操

◆応募要領◆

- ①ヒント:2重枠に入った文字をAからEの順に並べてできる文字は?
- ②回答送付先:231-8588横浜市中区日本大通1 県庁舎地下1階神奈川県職労連退職者こだま会パズル係
- ③郵便葉書に答、住所、郵便番号、氏名を記入し、1月15日までに上記②へお送りください。メールも可。
- ④賞品:正解者から抽選で5人の方にクオカード進呈します。
- ⑤発表:次号(2月15日号)

答

	A	B	C	D	E
1		2			3
				4	
5	6				
7				8	
			9		10
11				12	

- ヨコのカギ
1 心残りなこと。「○○○○無念」
- 4 これからの後
月見に欠かせない食べもののひとつ。東南アジア原産
一つの利益。「百害あって○
○○なし」
- 7 釣鐘形で袖がないゆったりした外套
粋でさらっとした三味線歌曲で、バチを使わず爪でする
- 9 11
- タテのカギ
1 カラシナの変種で中国四川省の漬物の一つ
注意深く丁寧。「○○○○」に仕上げる
- 3 日光市にある「○○○の滝」
物事が始まってまだ終わらないうち
- 6 8 争い。「○○○○両成敗」
旧国名。いまの高知県
- 10 12 歳を○○○ねる

前回の答「ナガレボシ」

シ	ズ	カ	サ	ヤ	
ジ	シ	ン		ボ	ケ
ユ		ナ	ス		ウ
ウ	イ		イ	ガ	
カ		オ	レ	ン	ジ
ラ	ラ	バイ			サ

●当選おめでとう●

抽選で次の5人の方にクオカードを進呈。沖村朋彦/加藤和子/清水勝紀/丹治イセ子/森口祥子(敬称略)

係から:回答はがきの余白に、本紙についての感想や要望、身近な話題などひとことを。「会員の広場」欄などに掲載させていただく場合があります。匿名の場合は「匿名希望」とご記入ください。

こだま会・健康教室

テーマは「高齢期の健康な過ごし方」

4月10日に予定していた「第1回こだま会健康教室」はコロナ禍で延期となり10月9日、開催となりました。横浜市開港記念会館で看護師の工藤テル子さんを講師に迎え、「健康教室〜高齢期の健康な過ごし方〜」に12人が参加しました。受講者の手嶋敏江さんからのレポートをお届けします。

「健康教室」に参加して

前回、コロナの関係で流れれてしまったので、今回は楽しみに参加させて頂きました。



懇談会でお互いにアドバイス

まず、講師の方から一通りお話を伺い、次にトレーニングチューブを使って体を動かす。やはり実践するのが一番。体の側面など、伸ばすことで痛く気持ちいいを実感。



「きくち体操」は購読している雑誌に載っているため、それなりに知っていました。きくちさんは現在86歳だと言うが、本当に若い！立ち姿が美しい！それは何故か。きくちさんが40代位の写真を見たことがあったが、今の方がずっと元気そうで若々しい。その違いが「きくち体操」にあると思う。足首回しでガンが消えたと言う「嘘みたいな本当のなし」という、その先がもう少し聞きたかった。そして



トレーニングチューブを使って体操

魔法のような足首まわしを皆でしたら、もつと盛りあげたのではと思いましたが。慣れたらなんでもないことだけど、足の指の間に手の指が入らないという人もいたのではないのでしょうか。「きくち体操」をやり始めた頃の自分を思い出しました。



「きくち体操」で指の曲げのばし



後半は、参加者の自己紹介あれこれ。日頃のストレス発散のように、皆さんよくしゃべり、いろいろなことに挑戦している様子が伺えた。講師以上に講師をしていた強者もいて、笑わせていただきました。「何事も続けることが大切」という講師の方のアドバイスを忘れず、これからもできる範囲で続けたいと思います。

人生の後半戦、健康でいられるかどうかはかなり大切なことだと思うので頑張ります。

(手嶋 敏江)

編集 後記

友人に誘われ、およそ20年振りに、横浜スタジアムにプロ野球観戦に行きました▼今年はコロナ感染拡大の影響で、オリックスを始めスポーツは中止や延期を余儀なくされました。プロ野球も開幕が延期され6月19日に▼最初は無観客で試合が行われ、感染拡大が減ってくる5千人まで観客を入れるようになり、私が観戦した9月20日は、50パーセントまでに緩和された翌日で、1万5842人の観客数でした▼今年のプロ野球観戦は、コロナ感染の影響で、鳴り物入りや大声での応援は制限されました。そのため、試合が始まると、ピッチャーの投げる球がキャッチャーのミットにおさまる音、バッターの打球音もより鮮明に聞こえ、迫力を感じます。観客の応援も、チャンスやピンチの時には拍手で盛り立て、試合に集中できます▼コロナが終息し、観客数の制約がなくなっても、音でも楽しめる球場の雰囲気であって欲しいものです。

秋雨に飛んだ白球ホームラン (瀧澤 正行)